

SWING WEDGE ATTACHMENT

スイングウェッジ
義歯用アタッチメント

「Minimal Intervention」という治療概念を基に、安定してよく噛め、着脱が容易で審美的要求にも応えられる。そんな義歯のために生まれたアタッチメント。



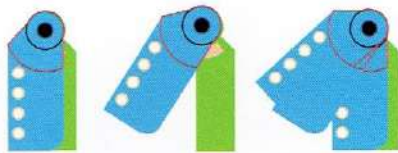
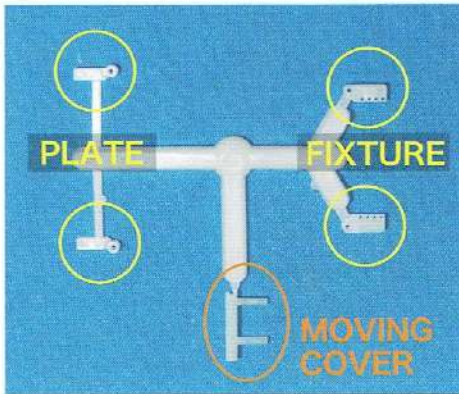
届出番号
歯科用パターン成型品
08B3X00007000032

「スイングウェッジアタッチメント」は残存歯や顎堤のアンダーカットに入るWedge(楔)と拮抗関係を持つレスト・フックを伴ったスタビライジングアームで構成されたシステムです。

- 健全な残存歯が傷つけず、補綴することが容易になりました。しかも、歯冠修復する場合も同様に利用できます。
- アンダーカットから維持装置を外してから義歯を着脱するため、鉤歯に余分な負担をかけません。
- 前歯用を用いることで、患者様の審美的要求にも充分に対応できます。
- 維持装置はどんなケースでも2か所以上つける必要がないため、患者様にとって義歯の扱いが容易。
- 残存歯列を抱え込むようなスタビライジングアームと、「ウェッジ・楔」とで構成され、しかも遊離端義歯の維持部遠心側には支持要素を持たない構造の為、咀嚼圧に対して義歯は若干沈下する動きをするようにセミリジッド設計されています。
- 歯牙の残存状態や設計によっては、お体の不自由な患者様の為に、維持装置を1か所とし、義歯の扱いを容易にすることも可能です。
- 安価であり、リペアーも容易で口腔内の変化に従来術式と同等に対応可能。
- 前歯用の登場で、総義歯から1本義歯まで適用範囲が広くなりました。

SWINGWEDGE ATTACHMENT

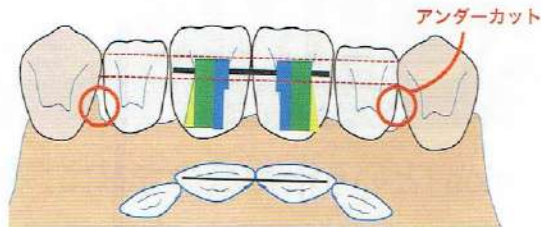
前歯用行程



フィクチャーとプレート
(軸受) (床連結具)

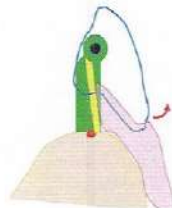
前歯用 4 SET入 ¥10,000

回転軸の設定



両隣在歯の歯基部アンダーカットに床が入る事で、維持をとる

床タイプ



歯橋頂を境に、唇側と舌側の床を分ける



歯槽頂上にスウィングウェッジアタッチメントを設置する



鑄造後



4 前歯排列舌側面観

臼歯用行程



1 床部のワックスアップ時にフィクチャーの位置を決定する。プレートが歯牙の遠心部アンダーカットに確実に入る事を確認する。歯面との接触をレジジンで処理する場合はリテンションピース分のスペースを確保する必要がある。



2 フィクチャーを床部に固定する。



3 鑄造して金属に置き換える。フィクチャー軸受部の中1mmの穴を確認する。

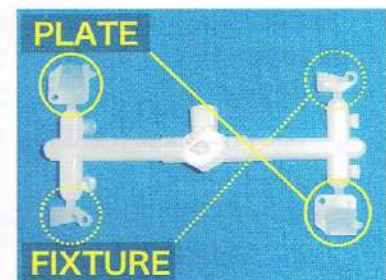


5 プレートを軸ごと外し別途鑄造し、研磨後床に装着する。(プレートは平面が重要なため、貴金属を選択した方が研磨性の良さから確実性が高い)



4 歯面とメタルタッチにする場合は、接触面を多くする為、歯面とプレートの隙間に専用エキスパートワックスを流し、開閉を確認する。
矯正線φ1mmをプレートに挿入し、床のフィクチャー軸受坑に軸を固定、プレートの位置確認をする。

完成模型



臼歯用 4 SET入 ¥8,800



発売元

チョウワ株式会社

〒316-0002 茨城県日立市桜川町 3-9-10
TEL 0294-32-2581 / FAX 0294-32-2583

製造販売許可番号 08B3X00007

製造業許可番号 08BZ000172

<http://chowa.watson.jp/>